



令和5年3月14日～19日

フィリピンレイテ島 訪問報告書



認定NPO法人 WITH事務局

〒504-0913

岐阜県各務原市那加大東町61番地の2

TEL.058-382-3688

FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>

E-mail/info@with-pj.org



**「WITH」は、
アジア諸国において植樹活動、
物資支援を行う特定非営利活動法人です。**

近年、アジアを中心に各国で地滑り・水害など多数の災害が発生し、多くの人々が犠牲となり、地球温暖化も進んでいます。その原因として、後を絶たない森林の違法伐採があげられ、年々悪化しつつあります。この問題の解決の糸口として、アジア諸国での植樹活動および現地の子供たちに物資を支援し、健全な育成を図ることを目的とし、2007年4月、特定非営利活動法人WITHを設立いたしました。未来の地球環境の保護に貢献すべく、今後も活動を継続し、拡大していきたいと考えております。そして今年、2023年3月14日～19日の6日間、第23回マングローブ植樹事業として、フィリピンへ行ってまいりました。2019年10月の訪問から3年半ぶりのレイテ島への訪問です。マングローブ植樹、及び地元の小学校の子ども達に合計約224kgの衣服や文具の支援を行いました。今後とも「WITH」の活動にご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

代表 橋本 佳幸

■令和5年3月8日12日,14日 WITH事務局にて

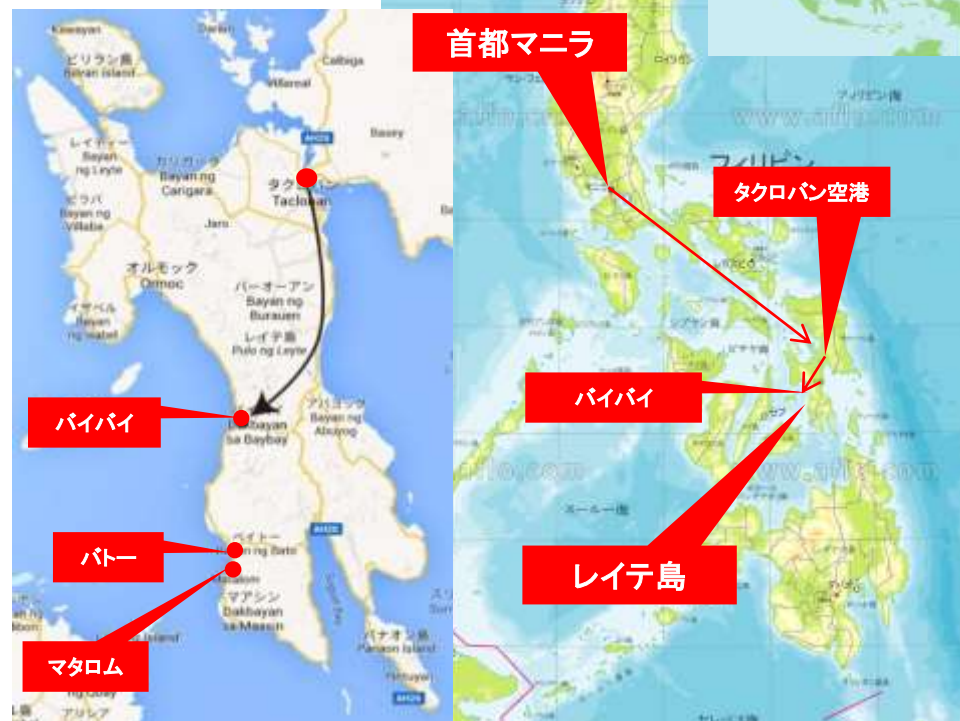
3月14日からの植樹ツアーの準備のため、ツアー参加スタッフによって荷詰めが行われました。

荷物の重量の制限は1人32Kgです。スーツケースの中身はほとんどが現地の子どもたちに寄付する

衣類やボール、文具などです。重さを測りながら手探りで詰め込みました。



32kg分、衣類やボール、文具などの荷物をスーツケースに入れるのはなかなか難しい。1つのスーツケースに入りきれないメンバーは別靴に残りの荷物を詰め込みました。フィリピンの子どものために、ぎりぎりまで支援物資を詰め込みます。



レイテ島まではマニラ空港から飛行機で約1時間程



日本

■令和5年3月14日 中部国際空港

■12:00 セントレアに集合。

今年は第2ターミナルからの搭乗となる。

平日ということもあって、いつもより閑散としている感がある。

荷物は重量MAXの32kgとなり、カウンターで重さを測る

のにも一苦労。

■13:50 セブパシフィック 5J 5039便

予定どおりフライト。

■令和5年3月14日 マニラ

■17:08(現地時間) マニラ空港

フィリピンに少し早く到着。空港館内はエアコンが効いていて

まだ到着した実感が沸かず。

荷物も無事受け取り、一段落。

ここでようやく全員で記念撮影



カウンターは若干空き気味。となりの
チェジュ航空はかなり混んでいる



32kgは重くて大変！それだけ
価値があるということ



WITHツアーとしては初の
第2ターミナルからの出発



搭乗口前。人影はまばら



搭乗口にて



外の様子。まだ飛行機は少ない



機内の様子。いよいよ出発です



空からの風景。相変わらず美
しい。何もありません



いよいよ陸地が見えてきました



荷物無事受け取り



今回のメンバー。左から橋本
(小)、谷口、犬山、橋本(岬)、
川本、三輪、椿井(撮影)の計
7人。大学生4人と大人3人の
チームです

■17:55 空港出発

空港内の両替所にて一部円をペソに両替。
この日空港ではレートが0.39。前回、3年半前の
ツアー時に比べれば大分ペソ高が進んでいる。
タクシーを探してホテルへ。
今回宿泊するホテルがある町は「パサイ」市
モールオブアジアをはじめ大きな商業施設が
数多く集まるエリアである。



空港から一歩出るとタクシーの勧誘が多い。安いところを探す



荷物が大きいこともあり、車も大きい車に



スーツケースを詰め込む



ハイウェイを利用。日本に比べると安いようだ。50ペソくらい

【モールオブアジア】

フィリピン・パサイ市のベイシティにあるアジア
最大級の大型商業施設。60haの広大な敷地に、
ファッションなどのブランドショップやレストランが
約1000店舗も軒を並べ、約600のショップ、
150以上のレストラン、シネマコンプレックス、
アイススケートリンクなどがあります。

■18:30 宿泊地着

今回宿泊の「シーレジデンス」に到着。
今回はコンドミニアムホテルというタイプ。
コンドミニアムの部屋の所有者が、宿泊用に
貸し出している。到着してその事実を知ったため
若干混乱。
なんとかオーナーに連絡をとり各自部屋に
入ることができました。
夕食のためモールオブアジアへ。



マニラ湾に隣接しているベイエリアは、
ショッピングモールやカジノなどの大型
アミューズメント施設が揃い、コンドミ
ニアムの建設ラッシュも見られ、街の発展
が顕著なエリアです



入口。当然チェックインの機能はない



部屋からの景色。モールの光が煌々と



ホテルから歩いて8分ほどでモールに

■20:20 モールオブアジア

Jollibeeにて夕食。みんなでようやく落ち着いて食事です。
これからの予定の確認や、お互いのことを話したりと
決起会となりました。

Jollibee:フィリピンでは国民的人気のファーストフード。
マクドナルドを凌ぐバーガーチェーン。
バーガーだけでなくチキンやスパゲティも人気
メニュー



人気のバーガーチェーン



フィリピンの国民食ともいえるほどの人気



外からのコンドミニアムの様子



タクシーに荷詰め

■令和5年3月15日

7:30 ロビーにて集合。いよいよレイテへ向け出発です。

■8:01 マニラ空港

10:00発 5J655 ほぼ時間通り出発

■11:35 タクロバン着

迎えに来てくれた現地スタッフと久々の対面、いつもなら
いろいろ話して記念撮影となるのですが、
急なスクールですぐに車に乗り込み移動。

■マッカーサー ランディング メモリアル パーク

12:05 第2次大戦時、マッカーサーが上陸した場所が
記念公園となっており、ブロンズ像が立っている。

写真になっている上陸シーンを再現した像となっている
全員で記念撮影。

■13:00 ガソリンスタンドに寄り、トイレ休憩。

ここでのガソリン価格はリッターおよそ57P(約147円)



国内線カウンターは混んでいました



チェックインを済ませ、空港内で朝食



搭乗する飛行機



タクロバン到着



到着したとたん雨。急ぎ車に乗り込む



海沿いの公園に到着



マッカーサーは「I shall return」といってフィリピンに戻りました。まさに今の私たちもその心境です

■13:14 アンドックス

ファーストフード店アンドックスにて昼食。
フィリピン発5大ファーストフードチェーン店として
人気のお店。名物は鳥の丸焼き。オーソドックスな
フィリピン料理がお手軽に食べられる、
WITHスタッフの中でも評判の高い店です。



鳥のキャラクターが目印



お値段もリーズナブル



豚と卵、玉ねぎを鉄板で炒めた「SISIG」



移動が続き、お腹も減る頃

■15:50 BATO SCHOOL OF FISHERES

以前何度か訪問した高校に到着。
体育祭中ということもあり、校庭では生徒が様々な
スポーツを楽しんでいました。
以前、野球を通じて交流があったので、
今回、野球部にバットなどの道具を進呈し
一緒に練習しました。
またバスケットボールなどでも一緒にミニゲームを
通じて交流しました。



高校に到着



日本から持ってきたボール
やバット



先生たちに挨拶



野球道具を先生に進呈、記念撮影



野球部のみんなと記念撮影



若い日本人が珍しいのか、現地の
学生たちが、日本からの大学生の周
りに殺到！記念撮影大会へ。混沌と
した状態になりました。





■17:10 現地スタッフ宅
 日本から持ってきた衣類やボール・文具などを
 一旦現地スタッフ宅にて集約。
 ようやく荷物が軽くなりました。



現地スタッフ宅に到着



倒壊した現地スタッフ宅の一部。
 自然はほんとに恐ろしい



ようやく32kgの重量から
 解放



衣類と文具。ここから小学校や村
 の人たちへ運ばれます

■17:50 マタロン植樹サイト

レイテにて最初に植樹したサイトです。
この場所で始めたのが2011年。
12年かけてここまで大きく成長しました。
いくつかの台風にも耐え、ここまで
丈夫に育ちました。今後も成長が見込めます。



既に夕方。薄暗くなってきました



家の合間をぬってサイトへ。
懐かしい



WITHの記念モニュメント。まだ残っ
ています



大きく苗が育っています



現地スタッフから木の説明を
受けました。大きいものは
3~4mまで成長しています。
今後も見守っていければ
と思います

2011年



2015年



2023年

■18:40 マタロン

現地スタッフが所属する地元のママさんバレーチームと合流。現地の人たちと交流イベントとしてバレーボールを楽しみました。バレーボール女子世界ランキングではフィリピンは79位とまだまだですが、国内ではバスケットボールにつぐ人気団体球技とのことです。



ナイターゲーム。白熱した試合になりました。



やはりママさんチームはみんな強い！



ママさんチームと記念撮影

■20:35 バトー港

バトーの港のお店にて夕食。心地よい潮風を楽しみながら、人気のフィリピンBBQをいただきました。

■23:35 ホテル到着

ようやくホテルに到着しました。スタッフ一同少しお疲れの様子。「長い1日だった」との声も。明日に向け早く寝床へ。



港に到着。ネオンが煌々とついています



フィリピンのBBQ。日本人にもあう味付けです



何軒かのお店が軒を連ねています



長い一日を終え、ほっと一息



ホテル到着



室内



お湯は出ない。水もたまに止まる

■令和5年3月16日 6:00 起床
朝食付き。部屋の前の廊下のテーブルまで届けていただきました。

■8:00 新しい植樹サイトへ到着
CENROのスタッフも現地に。今日一緒に植樹します。※CENROは海岸を管理する天然資源省の下部組織になります。



無事、みんな時間通り起床



朝食。なかなかゆったりといただくことができました



ホテル前の道、人通りは少ない



サイトの小屋



植樹する海辺の小屋が活動の中心になります



CENROの方も来ました



植え方を説明



今回植える苗









■9:15 植樹終了

休憩をとりました。

小屋に戻り、手伝ってくれた現地の人たちに飲み物とおやつを配りました。

■9:55 ホテルへ

一旦着替えとチェックアウトのためホテルへ戻りました。



■10:05 CENRO事務所へ

CENRO事務所へ訪問。OFFICERに面会。
WITHの活動、今後の植樹について話し合
いました。CENROからも色々提案をいただきました。
内容は日本に戻り吟味します。
今後の植樹に向け良い関係が築けられたら
と思います。



CENROの事務所



全員役員室へ通されました



CENROのOFFICERと面会



日本からの土産「柿の種」を渡しました



CENROから資料の説明



帰り際に記念撮影



小学校に到着



既に歓迎の準備が、日本の国旗まで用意されています

■10:35 PALHI ELEMENTARY SCHOOL

子どもたちとの交流イベントのため、
現地小学校に訪問。熱烈な歓迎
を受けました。
ここでも日本の学生たちは大人気！
再び撮影会の始まりです。



既に校庭にも子どもたちがスタンバイ



校長先生がお出迎え

おもてなしの席まで用意してくれました。
 日本からはお土産のお菓子や子どもたちの
 ためにノートや鉛筆、消しゴム、ボールなど
 進呈しました。子どもたちの勉学の役に
 立てられればと思います。今後ともWITHでは
 植樹だけでなく、現地の子どもたちを支援
 していきます。



いよいよ入場！



入場その2



入場その3



会場までの道ずっと旗をふつてくれます



遠くからも旗を振ってくれています



おもてなしの席が用意されています



貝殻で作られたネックレスをいただきました



副理事の名前が、大学生の女の子の名前に



とりあえず着席



席の前はかぶりつき気味に子どもたちが



先生と現地スタッフの司会ではじまりました



少し離れて見るとこんな感じの距離感



先生・生徒混ざって記念撮影





油断しているとすぐに日本の女子大生は子どもたちに囲まれる



ココナッツジュースとお菓子をいただきました



校長先生のお話



何話しているのかよくわかりませんが現地スタッフが訳してくれました



WITHのメンバーの紹介



メンバーより一言ずつ挨拶をさせていただきました



現地の生徒たちも携帯で撮影



日本の学生から校長先生へ文具の贈呈



またも日本の学生の周りに人が殺到



先生たちと記念撮影



現地の子どもたちと写真をとりながら交流しました



■12:45 ショッピングモールへ

今日の宿泊地へ持ち込む食料品を買い出し。

■13:20 BATOの港へ

今日の宿泊地へは船に乗っていきます。

この日の宿は海上のコテージ。船でおよそ1時間半の航行。フィリピンのきれいな海を見ながらし波に揺られていきます



先生たちともお別れ。ぜひまた来たいですね！



BATOのショッピングモールへ



食べ物や飲料を購入



BATO港に到着



今回乗る船



いざ出発



みなさんも気分上々



海上コテージ到着



コテージのまわりは透明度の高いサンゴ礁



今まで泊まった人たちの写真が並んでいます



真ん中の屋根のある場所は食事を撮るところです

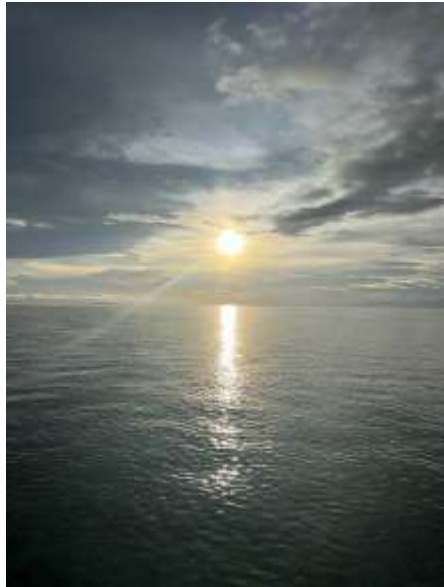
■15:20 昼食

荷物を降ろし落ち着いたところで遅めの
昼食。シーフードをメインに美味しくいただき
ました。食事のあとは周りの海を泳いだりして
楽しみました。

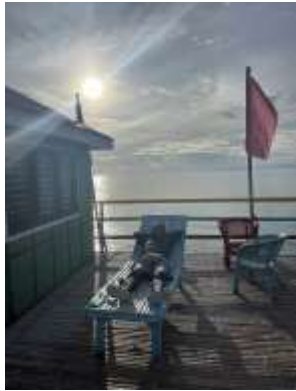


遅めの昼食。朝からイベント続きでメンバーもかなりの空腹状態

穏やかで綺麗な海で泳ぎを楽しみました



綺麗な夕日



夕日を楽しみながら
がらまったり



カラオケがはじまりました



子どもでも安心して遊べ
るようになっています



海をバックに記念撮影

夕食もそのままコテージにて海鮮を中心に
いただきました。

開放的な海上コテージを楽しみながら
その日は星空の下就寝。



引き続きこの場で夕食。フィリピンといえばやはり海の幸



屋根のある寝床は少ないので一部の人は屋外で就寝

■令和5年3月17日 7:00 起床

雨も降らずぐっすり睡眠をとることができました。

朝食をいただき、帰る準備です。

■8:50 コテージより出発

■9:20 ダワホン島到着

以前(2018)、イベントをさせていただいた
小学校に再度訪問してみました。

小さな学校ですが、活気に溢れているのは
変わっていません。



朝5時、みなさんまだ寝てます。
雨降らずよかった！

朝、お米を炊いてます

朝食。こんな海上での朝食もいいものですね



ダワホン島向け出発



ダワホン島到着。コテージから30分ほど



住宅街の狭い道をぬけていきます



小学校到着



急な訪問ですが、子どもたちも大喜び



時間がない中、学校を案内してくれました



カメラを向けると集まってくる習性



先生たちと記念撮影



惜しまれつつ学校を後に



BATOに向け出発

■11:40 BATO港到着

レイテ本島に戻ってきました。朝からの移動で少しメンバーも疲労気味

■11:55 BATOの小学校にて

以前、WITHの寄付により、校舎を建てた小学校を訪問しました。

■12:34 昼食



BATOに戻りました



少し疲れ気味



小学校到着。港から近いです



授業中なのか人は少なめ



初めてのメンバーにプレートに書かれた、校舎設立の経緯を説明



校舎前にて記念撮影



大学生たちが案の定、囲まれる

小学校内にある幼稚園クラスの校舎になります。以前はなかったですが、向かって左側に建物ができました



学生、先生と記念撮影



地元のフィリピン料理屋にてランチ



メニューも豊富。定食屋みたいなイメージ



移動続きでお腹もへりました



お値段もリーズナブル

■13:30 旧サイト到着

前回まで植樹していたサイトに到着。
これまで植えた苗の様子を視察
しました。



今後も苗の成長を見守って
きたいと思います



腰の高さほどまで伸びた苗。以前植えた苗のうち、
幾度かの台風を経て、2割ほどがまだ残っていました



5年ほど前に作ったモニユ
メントも残っていました



3年半ぶりの訪問



地形的に波の影響を強く受けそう
ですが、なんとか残っています

■14:15 ショッピングモールにて休憩

■17:44 タクロバン空港到着

マニラから到着した時と同じく雨。
スタッフとお別れも短めに、急いで
空港内へ。レイテともお別れです。

■18:00 チェックイン

■19:05 マニラへ出発



ショッピングモールでトイレ休憩



タクロバン空港到着



またしても雨。急ぎ空港施設内へ



帰りは荷物も軽いのでちょっと楽



待合室。いつも混んでいる



傘をさして飛行機へ



ようやく席へ。マニラまで一眠り

■20:40 マニラ到着

さしたるトラブルなく無事空港を出ることができました。この日はレートは40P
タクシーを探して宿泊地へ出発

■21:30 宿泊地着

初日と同じくパサイの宿泊の「シーレジデンス」へ到着。今度はスムーズに手続き。長い移動でメンバーも疲れ気味。各々食事を済ませ就寝。

■令和5年3月18日 9:00 起床



マニラ到着



荷物を回収。軽い！



外は蒸し暑い



タクシーを手配



宿泊地到着



コンドミアムのベランダ



コンドミアムの寝室



コンドミアムのキッチン



建物のエントランスが4つあって分かりにくい



中庭にはプールも完備。私たちも利用可



部屋がバラバラなためロビーで待ち合わせ

■10:00 ロビー集合

ガイドが手配したドライバーが車で迎えに来てくれました。今回トンドまで運転してくれます。

■10:30 Jollibeeにて朝食

ガイドと合流してJollibeeにて朝食。

■11:30 トンド到着

トンド地区: 首都マニラの北西部の地区。世界有数の人口密集地として知られる。わずか9.1km²に60万人以上住んでいると言われている。

役場の人の案内により「ハッピーランド」を散策。現地スラム街の暮らしぶりを視察。日本や今まで見てきたフィリピンの街とのギャップに日本の大学生は驚きを隠せない様子。

ハッピーランド: バランガイ105地区。2006年には約3500人ほどの人口であったが現在は12000人以上に増加。もっとも人口増が激しいエリアの一つ。ゴミ屋敷を意味する「ハピラン」が語源であり、皮肉をこめて「ハッピーランド」と呼ばれるようになりました。



いつも混んでる人気チェーン



なんとか席を確保



大きな港もありトラックも多い



トンド到着



ガイドさん先頭に街中へ



バランガイホール



役場の人に道案内をお願いします



大きい道路を横断



いざハッピーランドへ



見上げれば電線ぐっちゃぐちゃ



ゴミの近くでも子どもが楽しそうに遊んでいます



あちこちでゴミを仕分けしています



路上には子どもも多い



アイスクリーム35P~



生活に溶け込むように街のあちこちにゴミ袋が積まれています



飲食店も多い。衛生面が気になるところ



ミニビリヤード的なゲーム



お金を掛けて蜘蛛を闘わせる



自分の蜘蛛をマッチ箱などで飼っている



蜘蛛の扱いを体験



どこにでもある珈琲の自販機。こんなところにも



ゴミ収集車も街中に



プラスチックを分別



役場の人が解説しながら案内



街中は活気があふれています



ゴミ袋がいたるところに



売っているのはスイカ



品種はわからないが米がキロ44P～



バグオンのお店を発見。買って食べてみました。バグオンは小エビや魚を塩漬けにしたもの。グリーンマンゴーに乗せて食べるのが人気。スーパーの果物売り場に一緒に瓶で売られてたりする

フライドポテトの店。15P～

魚も売ってます

エグい色のジュース

■12:11 スモーキーマウンテン到着

同じトンドのバランガイ128地区へ。

ここは「スモーキーマウンテン」と呼ばれているエリア。現在どうなっているか視察にきました。

スモーキーマウンテン:名前の由来は、自然発火したゴミの山から煙が昇るさまから名付けられました。1950年代頃より焼却されないゴミの投棄場になった。それ以来、マニラから出たゴミが大量に運び込まれ、その中から廃品回収・リサイクルを行ってわずかな日銭を稼ぐ「スカベンジャー」が住み着き、急激にスラム化した。世界的にも有名になり、フィリピンの貧困の象徴として扱われるようになったため政府は国のイメージが損なわれることを理由に閉鎖した。



案内していただいた役場の方



スモーキーマウンテン到着



この山がかつてのゴミの山



多くのリサイクルショップが並ぶ



スモーキーマウンテンをバックに記念撮影



山沿いには犬や鶏などを飼っている小屋もたくさんありました



露店で買いました。揚げクレープみたいな感じでしょうか。とにかく甘かった



野犬もいて危険との話もありましたが、
 地元の子どもの案内で山の中へ。
 山の中は既に土や植物で覆いかぶさって
 いますが、時折ゴミが見える部分もあります。
 山中で生活している人やお店を営んでいる
 人たちもいました。山頂からの景色には
 マニラの高層ビル群もあり、改めて貧富の
 差を実感しました。



ここにもハッピーランドと同じく、ゴミを生活の糧にしている人たちがいます



子どもたちとバスケットボール！
 みんなノリがいい



行き止まりと思いきや



子どもたちの案内で山中に



ゴミが散乱する山道の
 のぼり、、、



頂上に到着



山には畑もありました



山頂より海の方を見れば港の倉庫やクレーンが見えます



山頂にはお店も。ここまで買いに来る？



案内してくれた子どもたち



やはり衛生面を気にしてしまう



帰りの中腹にもゴミがたくさん



山の遠くには高層ビル群が見えます。日々これを見て子どもたちは何を思うのでしょうか



■13:50 イントロムロスへ

イントロムロスのスターボックスで休憩。
昔の城壁内に作られた珍しいスターボックスです。
キャラメルフラペチーノ Tall が165ペソ、
日本円で412.5円(0.4で換算)。日本では550円
なので少し安い。

イントロムロスの街並みを散策し、フィリピンの
歴史を学んでいきます。

イントロムロス: マニラの有名な観光地でもある
スペイン植民地時代の街並み。
スペインがフィリピン統治のために建てた
マニラ最古の旧城壁都市。イントラムロスとは
スペイン語で“壁の内側”を意味する。
古い教会や建物が並び、調度品や美術作品が
数多く展示されています。周辺の石畳の道には
観光客向けに馬車が走っています。



下山



子どもたちとお別れ。ありがとう！



観光客にも有名なスターボックス



イントロムロスの街並み



警察官も昔の衣装に



城壁をくり抜いていろ
ろなお店があります



観光客を乗せて馬車が
回遊



城壁の上にて記念撮影



昔の城壁が今も残っています



城壁の上からの景色



途中からイントロムロス内で
自由行動に



名物、竹のレンタルサイクル



周辺にはBARやCAFÉが多くあります



街中のペットボトルのゴミ箱大きい！



有名な観光スポット「カサ・マニラ」かつてスペイン統治時代の上流階級の人たちの住まいを再現。博物館となっており、イントロムロスの目玉スポットの一つ。

古い教会群も観光の見所の一つ



■16:30 解散

イントロムロスの見学を終え、解散。
あとはそれぞれ分かれてお土産などのお買い物・食事など自由時間となりました。

残り少ないフィリピンの時間を満喫しました。

■令和5年3月19日 5:30 ホテルロビーにて
複数名が寝過ごす。かつ先日のガイドに
お願いした車が来ず、大幅に遅れました。



急ぎ空港到着！



急ぎ荷下ろし！



急ぎカウンターへ！



急ぎチェックイン！



みんなバラバラに中へ、、、

■6:18 空港着 セブパシフィック 5J5038便
なんとかギリギリ間に合うか！？

しかしエミグレーションがかなりの混雑。
一部スタッフが搭乗に間に合わず！

後日のフライトへ。

■12:15 セントレア到着
何事もなく？日本に到着。

すんなり空港を出て記念撮影。

解散となりました。

みなさんお疲れ様でした！



日本到着しました



人数少ない、、、お疲れまでした